

## 韓国の 労働メディア

2008年4月19日

## 労働者ニュース制作団-1

- ▶ 1989年スタート
- ▶ 1987年労働者大闘争をへて、運動を拓げる目的から**独立映画運動**に携わる人たちが、労働運動と映像をつなげようと設立。
- ▶ キム・ミョンジュン前代表



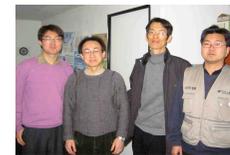
## 労働者ニュース制作団-2

- ▶ 活動内容)
  - ①ニュース発信
  - ②作品制作(ドキュメンタリー・ドラマ・アニメ)
  - ③教材ビデオ制作
  - ④制作支援
  - ⑤労働映画祭
- ▶ 各組合の映像**グループ**の制作を支援する。



## 労働ネット

- ▶ 1998年スタート
- ▶ 韓国労総や民主労総など主要組合が参加
- ▶ 同時に市民グループが「進歩ネット」を設立
- ▶ 政府から独立したサーバーの必要性
- ▶ 活動家へのインターネット教育
- ▶ サイバー・デモ、インターネット中継、技術支援など



## MediAct-1

- ▶ 2002年スタート
- ▶ キム・ミョンジュン所長

社会的背景)

- ▶ 90年代後半、新自由主義への  
対抗運動の必要性
- ▶ 女性・環境・外国人・非正規などの  
多様な運動がつながる場とシステムの必要性



## MediAct-2

- ▶ 労働組合というシステムの限界  
労働運動は多様な運動とつながらない  
メディア運動を評価しない
- ▶ 市民運動は制度化に満足してしまう
- ▶ マスメディアにメディア運動への  
視点はなく、保守的。しかし、  
言論労組との関係づくりは大切



## MediAct-3

- ▶ 公的資金を得る  
政府観光文化庁映画振興委員会  
↓ 資金・委託  
(社)独立映画振興協会が運営

- ▶ 国家から何かを獲得するという発想は、  
左派にはない
- ▶ 独立メディアに満足せず、公的な  
メディア空間の確保をめざす



## MediAct-4

活動内容)

- ▶ ①メディアリテラシー教育  
マスメディアへの批判的読み取り  
市民のメディア制作を支援
- ▶ ②パブリックアクセス  
作品をケーブルTVで放送
- ▶ ③地域メディアセンターと各種メディア  
団体とのネットワーク化
- ▶ ④メディア政策研究



## MediAct-5

特色)

- ▶ 対象は、若者や子ども、老人、障害者、非正規・外国人・女性労働者、兵士など
- ▶ 技術の支援だけでなく、**参加型の教育に重点**をおいたプログラム
- ▶ ネットワークづくりに力を入れる
- ▶ **パウロ・フレイレ**の影響

\* 20世紀の中南米を代表する教育思想家。  
彼の教育実践から、エンパワメントという言葉が生まれた。

